

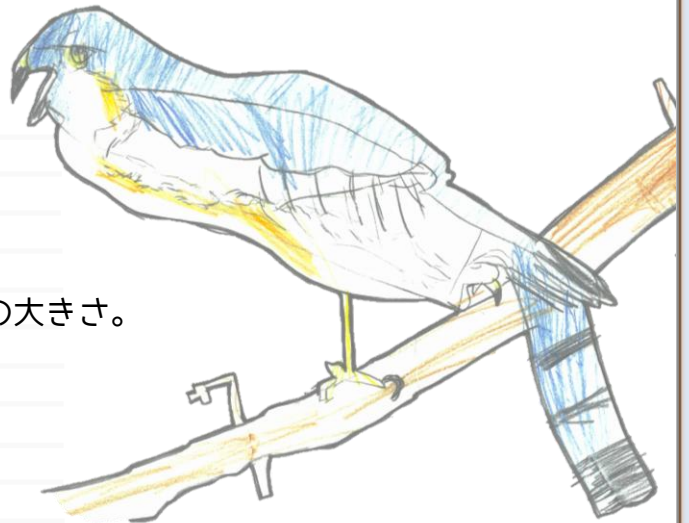
福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 152

ハイタカ

分類 タカ目 タカ科

大きさ：オス 約31cm、メス約39cm
(メスの方が大きい)特徴：「キツ、キツ、キツ」と鳴く。
体が小さく、ハトと同じくらいの大きさ。小鳥の森で見られる時期
・主に12月から3月小鳥の森で見られる場所
・園内全域

えんどう あおは(8才)さんが描いてくれました。

2月 いきもの森予報

二度寝をするカエル

2月は一年で一番寒さのきびしい時期。多くの生き物が寝ている中、あえて早く起きるのがニホンアカガエル。

いったいなぜ早起きをするのでしょうか。こたえは「生き残る」作戦(さくせん)のため。ニホンアカガエルは冬眠していた土の中や落ち葉の下で目を覚ますと、日当たりの良い浅い水たまりまで行きます。卵を産むためです。冬はカエルを食べるヘビやヤゴなどが活動していないため、卵やおタマジャクシがおそわれる心配がありません。また、エサを取り合う生き物がまだいないので、生まれたおタマジャクシたちはエサを食べ放題。早く成長することができます。良いことばかり!でも悪いこともあります。気温が低すぎたり水たまりが凍ったりすると、一気にたくさんのおタマジャクシが死んでしまいます。危険もある生き残り作戦なんですね。

さて、卵を産み終わったお母さんがエル。なんとまた森の中にもどり二回目の長い眠りにつきます。春眠(しゅんみん)と呼ばれています。二度寝から起きてくるのは5月ごろ。あたたかい春まで、もう一度おやすみなさい。



ニホンアカガエルの卵



ニホンアカガエル



冬芽を食べるシメ



ウサギの足あと

器用（きよう）なクチバシ・冬の跡（あと）

体の芯（しん）まで冷えた1月。10日には10cmほどの雪が降りつもりました。寒さがきびしくなればなるほど自分の羽を立てて丸々ふっくらした形になる鳥たち。園内ではそんな冬らしくかわいらしい景色を見ることができました。一方で、生き物たちのエサがなくなる時期でもあります。たくさんあった赤い実などはほとんど食べつくされていました。そんな中、高い木の枝先でシメが冬芽をついばんでいました。いつもは固い木の実や草の実を割って食べる太くて強いクチバシ。小さな芽を器用にむしり取っていました。

また、雪の降った上にウサギやタヌキなどの動物の足跡がくっきりと残っていました。ふだん見ることのない動物たちが森の中で生活している証拠（しょうこ）ですね。カワセミの小径では四つの点が目・鼻（はな）・口に見えるウサギの足あとがずっと続いていました。

自然のお便り

知ると便利！ものさし鳥！

冬はバードウォッチングがオススメな季節。鳥たちを隠す（かくす）葉は枝にあまり無く、この時期だけやって来る冬鳥もいます。

さて、見たことのない鳥に出会って名前を知りたくなった時…。図鑑（ずかん）やインターネットで調べる時に「大きさ」「形」「色・もよう」などが大事な情報（じょうほう）になります。今回は「大きさ」の目安（めやす）に便利な「ものさし鳥」についてのお話です。ものさし鳥とは「鳥の大きさを知る時に定規（じょうぎ）にする鳥」のこと。みなさんも見ることの多い5種類が使われています。小さい順から、スズメ（約15cm）ムクドリ（約24cm）ヒヨドリ（約27cm）キジバト（約33cm）ハシブトガラス（約57cm）。バードウォッチング中に見ている鳥と、この5種類の鳥の大きさを頭の中で比べることで、だいたいの大きさが分かるのです。みなさんもぜひ「ものさし鳥」をおぼえて、名前をしらべる時に役立ててくださいね。

イベント報告

お山の大将あつまれ！

1月19日（日）にお山の大将あつまれ！を開催しました。今回は稲のワラを使って鍋敷きやリースなど、2種類の作り方で行いました。簡単な方では、芯材にひたすらワラを巻き付けて作成。もう一つの難しい方ではワラをねじって編み込んで作成しました。小さな子は保護者の方と協力して作っていましたが中には、座れるほどにたくさん巻き付けて座椅子（ざいす）のようにしている方もいました。また、完成したものにたくさんの木の実をはじめ、飾りつけを行う子も。たくさんのおすてきな作品ができあがりました。



鍋敷きを編む様子



リースの飾り付け

* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口市宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2025年2号№463 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP